



JAPAN CULTURAL EXPO



文化庁

Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金
0地域文化財団会活用推進事業

ファンタスティックいわて
Fantastic×IWATE

第12回
全国

虎舞

フェスティバル



12th Zenkoku TORAMAI Festival

感染が拡大している地域(緊急事態宣言やまん延防止措置適用地域)からのご来場はご遠慮いただきます。

※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、内容の変更や入場制限、中止になる場合があります。開催の最新情報は、左下QRコードをご参照ください。



入場無料



YouTube チャンネル
「かまいしの観光」
で生配信します。
また
三陸ブロードネット
「かもめチャンネル」
でも生放送します。

LIVE

- 【釜石市ほか県内出演団体】
- 錦町虎舞
- 平田青虎会
- 鶴住居青年会
- 白浜虎舞好友会
- 尾崎青友会
- 両石虎舞保存会
- 箱崎虎舞保存会
- 只越虎舞
- 陸中弁天虎舞(大槌町)
- 釜石虎舞保存連合会
- 【県外出演団体】
- 阪神虎舞(兵庫県神戸市)

釜石市民ホールTETTO

令和4年2月6日(日)

開場9:30 開演10:00 終演14:00(予定)



釜石の観光HP

問合せ先:釜石観光総合案内所 0193-22-5835(当日 090-6682-0070)

【主催】幸せ出ずる国いわて実行委員会、(一社)釜石観光物産協会、釜石市 【共催】釜石虎舞保存連合会 【後援】釜石市教育委員会

【県外虎舞出演団体】

阪神虎舞(兵庫県神戸市) **映像出演**

岩手県沿岸部の郷土芸能「虎舞」を、関西在住のコンテンポラリーダンサーが舞う「阪神虎舞」は、2018年神戸を拠点として結成されました。日本で唯一の女性の舞手のいる団体として、オリジナリティのある演目も行っています。

【釜石市ほか県内虎舞出演団体】

錦町虎舞

錦町虎舞は、かつては門前虎舞と称し、町名が錦町から浜町3丁目と変わりましたが、旧町名のまま「錦町虎舞」と呼んでいます。毎年10月の尾崎まつり、6月の綿津見まつりの祭礼供奉の他、各種芸能大会でも披露されています。

平田青虎会

起源は明白ではありませんが、約780年前、閉伊頼基が将卒の士気を鼓舞するため、虎の縫いぐるみをつけさせて踊らせたのが始まりと言われています。地元の館山神社の祭礼において奉納されるほか、毎年開催される釜石まつりなどにも参加しています。踊りは尾崎町虎舞より指導を受けその流れを有することから、同じ系統の虎舞であると言われています。

鶴住居青年会

太神楽の拍子を取り入れたようにも思われる趣を持ち、虎頭を使った踊りは優雅な舞であることから「雌虎」と称されており、手踊りが数多く伝承されているのが特徴です。地元の鶴住神社に奉納する舞であり、鶴住神社例大祭には御神輿のお供役として参加しています。

白浜虎舞好友会

白浜虎舞は、昭和55年頃、鶴住居虎舞の指導を受けて発足しました。演目には、矢車、はね虎、笹ばみなどがあり、ほかの地域同様に、漁師たちの航海の安全と操業の無事、大漁を祈願して奉納されています。

尾崎青友会

尾崎町虎舞は、元は台村と言われ現在は浜町2丁目に伝わる「尾崎虎舞」が前身です。踊りの特徴は聖獣とされた虎に願望を託し、漁師町らしい浜っ子気質の威勢の良い独特の囃子と虎の猛々しい生態を表した舞が特徴とされ、演目には矢車、跳ね虎、笹喰みのほかに龍虎舞や刺鳥舞なども受け継がれています。

両石虎舞保存会

両石虎舞は、航海安全と大漁祈願として江戸中期から踊り始められたと伝えられています。虎頭は現在も木彫りの虎頭を使用しており、舞は、踊りながら踊り手が交代し、足では相撲での四股を踏むような形で踊るのが特徴です。

箱崎虎舞保存会

箱崎虎舞は、昭和46年頃に海沿いの小さな集落で作られました。以前は、木彫りの虎頭だったと伝えられていますが、現在は張り子となっており、木彫りの虎頭は本尊として祀られています。演目には、矢車、跳ね虎、笹喰みの3種類があり、威勢のよい掛け声と勇壮な舞いが特徴となっています。

只越虎舞

只越虎舞は昭和20年代初期頃、先代である故 坂本軍治氏により設立されました。毎年、綿津見神社、尾崎神社、釜石製鉄所山神社の例大祭で奉納され、釜石製鉄所山神社においては、年行司露払い団体として奉納しています。釜石で唯一白い虎を使っている団体でもあります。

陸中弁天虎舞(大槌町)

昭和49年秋、「赤浜虎舞」として結成され、昭和56年夏、陸中弁天虎舞と改名しました。蓬萊島で踊る虎舞は、岩場から大海原を背景にダイナミックで躍動感にあふれ、まさに勇壮です。現在は陸中弁天虎舞四代目酔虎会(すいこかい)として、若者を中心にお祭りを始め、祝い事やイベント等県内外で幅広く活動しています。

釜石虎舞保存連合会

釜石虎舞保存連合会は、市内7団体からなる組織で主に市外県外から要請があった際に各団体から編成し連合会として遠征をしています。震災後は大阪泉大津のだんじりや東京ドームなど各イベント会場に出向き、支援のお礼の意味も込め釜石虎舞を披露しています。

【新型コロナ感染防止のためのお願い】



- 接触確認アプリ「COCOA」の事前登録をお願いいたします。
- ソーシャルディスタンスを確保し、大声を発したり、真正面での会話はお控えください。
- マスクを着用の上、ご来場ください。
- 発熱・咳・全身痛などの自覚症状がある場合、体調が優れない場合は、来場をご遠慮ください。入場時の検温で、37.5以上の熱がある場合は入場をお断りさせていただきます。

釜石市民ホール TETTO (テット) 岩手県釜石市大町1-1-9

